令和5年9月八峰町議会定例会会議録（第1日）

令和5年9月4日（月曜日）

議事日程第1号

令和5年9月4日（月曜日）午前10時開会

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 会期の決定
- 第3 諸般の報告
- 第4 議案第56号 八峰町手数料条例の一部を改正する条例制定について
- 第5 議案第57号 八峰町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 第6 議案第58号 八峰町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 第7 議案第59号 八峰町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 第8 議案第60号 令和5年度八峰町一般会計補正予算（第5号）
- 第9 議案第61号 令和5年度八峰町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）
- 第10 議案第62号 令和5年度八峰町沢目財産区特別会計補正予算（第1号審）
- 第11 議案第63号 令和5年度八峰町簡易水道事業会計補正予算（第1号）
- 第12 発議第6号 決算特別委員会の設置について
- 第13 決算特別委員会委員長及び副委員長の互選結果の報告について
- 第14 議案第64号 令和4年度八峰町一般会計歳入歳出決算認定について
- 第15 議案第65号 令和4年度八峰町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について
- 第16 議案第66号 令和4年度八峰町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について
- 第17 議案第67号 令和4年度八峰町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

- 第18 議案第68号 令和4年度八峰町沢目財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 第19 議案第69号 令和4年度八峰町合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 第20 議案第70号 令和4年度八峰町営診療所特別会計歳入歳出決算認定について
- 第21 議案第71号 令和4年度八峰町簡易水道事業会計決算認定及び剰余金の処分について
- 第22 議案第72号 令和4年度八峰町下水道事業会計決算認定について
- 第23 陳情第4号 庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情書について

出席議員（12人）

1番 笠原吉範	2番 伊藤一人	3番 奈良聡子
4番 芦崎達美	5番 水木壽保	6番 菊地薫
7番 腰山良悦	8番 見上政子	9番 須藤正人
10番 門脇直樹	11番 山本優人	12番 皆川鉄也

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

町長	堀内満也	副町長	田村正
教育長	鈴木洋一	総務課長	和平勇人
税務会計課長	成田拓也	企画財政課長	高杉泰治
福祉保健課長	石上義久	教育次長	山本節雄
学校教育課長	山内章	産業振興課長	山本望
農林振興課長	堀内和人	建設課長	浅田善孝
農業委員会事務局長	内山直光	生涯学習課長	今井利宏
あきた白神体験センター所長	菊地俊平	防災まちづくり室長	工藤善美

議会事務局職員出席者

議会事務局長	佐々木高	議会事務局庶務係長	須藤佳奈子
--------	------	-----------	-------

午前10時00分 開 会

○議長（皆川鉄也君） おはようございます。

傍聴者の皆様には、朝早くから大変ご苦勞様でございます。よろしくお願いをいたします。

これより令和5年9月八峰町議会定例会を開会いたします。

ただいまの出席議員数は12名です。定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、八峰町議会会議規則第124条の規定により、8番見上政子さん、9番須藤正人君、10番門脇直樹君の3名を指名します。

日程第2、会期の決定を議題とします。

会期等につきましては、議会運営委員会に諮問し意見を求めていますので、その結果を議会運営委員会委員長より報告願います。水木議会運営委員長。

○議会運営委員会委員長（水木壽保君） おはようございます。議会運営委員会の委員長の水木でございます。

ご報告申し上げます。

当委員会では、去る8月29日、議会運営委員会を開催し、8月10日付けで議長から諮問のあった令和5年9月八峰町議会定例会の議事日程等、議会運営に関する議事事項について協議いたしました。

その結果、本定例会の会期については、本日から15日までの12日間とし、日程等については、皆さんにお配りした日割表及び議事日程表のとおり決定いたしましたのでご報告いたします。

○議長（皆川鉄也君） お諮りします。本定例会の会期は、ただいまの議会運営委員会委員長報告の日割表及び議事日程表により、本日から15日までの12日間としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 異議なしと認めます。したがって、本定例会の会期は、議会運営委員会委員長報告のとおり、本日から15日までの12日間に決定しました。

日程第3、諸般の報告を行います。

議長報告につきましては、別紙報告書のとおりでありますので朗読は省略させていた

だきます。

堀内町長より発言を求められておりますので、今議会提出議案の提案と併せて報告願います。堀内町長。

○町長（堀内満也君） おはようございます。

本日、令和5年9月八峰町議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様にはご多忙の中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

提出諸議案の説明に先立ち、6月定例会後の町政及び諸般の動きについて、その大要をご報告申し上げます。

はじめに、7月14日からの大雨についてであります。

東北地方に停滞した梅雨前線の影響により、本町において24時間降水量が観測史上最大となるなど、道路の崩落や河川の氾濫に加え、家屋浸水が発生したほか、水道施設の被災により峰浜地区において断水するなど、町民生活に甚大な影響があったところであります。

幸いにも人的被害はありませんでしたが、床上浸水3世帯、床下浸水20世帯があったほか、公共土木施設や農地、農業用施設等の被害額は、28億円以上となっております。

被害に遭われた皆様に対しまして、心よりお見舞いを申し上げます。

町では、大雨に関する気象情報を受け、事前に幹部職員による災害対策の打合せを行い、14日午後5時に「災害対策連絡部」を設置し情報収集に当たっておりましたが、大雨警報や土砂災害警戒情報が発令されたことに加え、町内の河川の水位の状況を踏まえ、「災害対策本部」に改組の上、全町に避難指示を発令いたしました。

また、ファガスや峰栄館、岩館生活改善センター等の避難所には、延べ28世帯47名が避難したところでありますが、今後も前例のない記録的な大雨が予想される場合、早い段階から情報収集や警戒体制を整え、防災行政無線やホームページ、町公式LINEなどの情報システムを活用し、迅速で安全な避難誘導に努めてまいります。

このたびの災害を受け、私が立ち会いのもと、7月19日に佐竹知事に被災状況の調査をしていただいたほか、24日には石井国土交通副大臣と金田勝年衆議院議員、さらには進藤金日子参議院議員や若松謙維参議院議員にもご視察いただき、被災状況の説明と激甚災害の指定及び財政支援を強く求めたところであります。

応急対応や復旧活動について、自衛隊や国土交通省、農林水産省、秋田県や県内外の自治体、地元建設業協会等から多大なご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。

とともに、復旧に向け、引き続き、ご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

次に、公共土木施設の被害の概要について申し上げます。

町道では、25路線・75か所で道路崩落や路肩決壊等が発生したほか、河川では、13河川・56か所において護岸の決壊や土砂等の堆積が確認されております。

特に、世界自然遺産「白神山地」へ繋がる町道白神二ツ森線では、31か所の被害が確認されたほか、町道水沢ダム線では大規模な道路崩落があり、両路線では現在も通行止めが続いております。

今後は、国や県と協議を進め、公共土木施設災害復旧事業等を活用しながら、水道施設を含めた被災施設の早期復旧に全力で取り組んでまいります。

次に、農林業の被害の概要について申し上げます。

現時点において、水田への土砂流入等が30ha、水路の決壊・土砂流入が約7.7km、農道の損壊が18か所、林道の被害が38か所、その他施設等が9件となっております。

特に、用水路の決壊や土砂の流入により、出穂期から開花期の最も用水を必要とする時期に水が供給できない状況に加え、大雨以降、ほとんど降雨が確認されていないことを踏まえると、今後の収穫への影響は相当大きいものと考えております。

今後は、災害復旧事業により被災施設の早期復旧に取り組むとともに、国や県、JA等の関係機関等との連携を強化してまいります。

いずれにいたしましても、このたびの災害は、多くの町民が経験したことのない大災害であります。豪雨がもたらした被害はあまりにも甚大であります。しっかりと前を向いて、一日も早く元の生活を取り戻すことができますよう、役場職員一丸となって全力で取り組んでまいりますので、町民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

次に、7月25日に発生した住宅火災について申し上げます。

25日の午後4時頃に石川地区の民家から出火があり、住宅と敷地内の倉庫の2棟を全焼する火災がありました。

八峰、能代両消防署からは、タンク車など8台が出動したほか、町消防団も消火に当たり、隣接する住宅への延焼を防ぎ、約2時間30分後に鎮火いたしました。

被災された方に対し、心からのお見舞いを申し上げます。

このたびの火災では、地元消防団がいち早く駆けつけ、初期消火を行ったことが延焼

防止につながったとのことであり、日頃の訓練の成果が発揮されたものと考えております。

今後も、消防等の関係機関と連携しながら、町民の防火意識の向上に努めてまいります。

次に、8月14日に峰栄館にて開催いたしました「二十歳を祝う会」についてですが、今年度の対象者は64名で、うち51名に出席いただきました。

式典では、代表者から「今後の困難や挫折を乗り越えていくとともに、故郷八峰町への誇りと感謝を忘れず、更なる成長のため努力する」といった力強い誓いの言葉があり、頼もしく立派な新成人の姿を拝見し、私も大変誇らしく思うとともに、現在実施している「ふるさと教育」の重要性を実感したところであります。

式典の開催に当たり、企画や運営等でご尽力賜りました実行委員の皆様には、厚くお礼を申し上げます。

次に、8月18日に峰栄館において開催いたしました「戦没者追悼式」についてであります。

式典には、ご遺族やご来賓など36名の皆様にご臨席を賜り、先の大戦で犠牲となりました方々に追悼の意を表し、平和を守っていくことをお誓いいたしました。

今年は、終戦から78年となりますが、戦争を知らない世代が多くなっていく中で、不戦の決意を新たに、平和の尊さを次の世代に語り継いでいかなければならないことを再認識したところであります。

次に、8月19日に留山において開催いたしました、白神山地世界遺産登録30周年記念イベント「留山”森の音”物語」についてであります。

このイベントは、白神ネイチャー協会等の関係団体と実行委員会を組織し、7月から11月までの期間で、トレッキングとミニコンサートを実施することとしております。

当日は、県内外から22名が参加し、留山のブナ林トレッキングを楽しんだほか、ブナの巨木の前で、歌やトランペットの演奏に耳を傾け、白神の癒しを体験していただきました。

運営に当たられた実行委員会の皆様のご労苦に対し、心から敬意を表しますとともに、厚くお礼を申し上げます。

次に、8月22日から25日まで台湾で行われたトップセールスについてであります。

この事業は、今年12月から秋田空港に台湾とのチャーター便が就航することを契機に、

県産品や観光コンテンツのPRのため、県が企画した事業であり、私も知事や市町村長、商工会等の関係者と一緒に参加してまいりました。

台湾では、航空会社のタイガーエアやスタートラベルなどの旅行代理店に加え、本町と関わりの深い龍角散の代理店など多くの関係者の皆様と意見交換を行い、町といたしましても、農産品の輸出や観光客の誘致等において様々なチャンスがあると感じたところであります。

今後は、チャーター便の就航期間が今年12月から来年3月までとなっていることを踏まえ、冬期のインバウンド獲得について、観光協会や商工会等と連携し、課題を整理しながら取り組みを進めてまいりたいと考えております。

次に、9月2日にファガスにおいて開催いたしました「敬老式」についてであります。

今年度の対象者は、初養老や傘寿、米寿など385名であり、当日は67名が出席し、神事と式典を行ったところであります。

いずれも人生の節目を迎えられた方々であり、心からのお祝いと一層のご長寿をご祈念申し上げます。

次に、プレミアム付き商品券発行事業についてであります。

今年は、地域経済の活性化や個人消費の拡大を図ることに加え、燃油高騰対策の一つとして「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援交付金」を活用し、額面1万3,000円の商品券を1セット1万円で7,000セットを販売しているところであります。

8月9日から販売を開始し、既に完売となっており、例年どおり好調な売れ行きとなりました。

次に、全国学力・学習調査状況についてであります。

本県は、小学6年生、中学3年生ともに全国トップ級の成績でありましたが、本町の状況は、県平均を100とした場合、小学6年生は109、中学3年生は105と県平均を上回る良好な結果でありました。

今後は、調査結果から明らかになった課題に対し、教育委員会や学校等が連携し、具体的な対応策を考えながら授業改善に取り組むなど、児童生徒の良さを一層伸ばしてまいります。

次に、スポーツ少年団活動についてであります。

6月24日に潟上市で開催された高円宮賜杯第43回全日本学童軟式野球秋田大会に、八峰グローリーズが出場いたしました。

当日は、私と教育長も球場で応援したところではありますが、大会の開幕戦からの登場で子どもたちにも緊張があり、残念ながら初戦突破とはなりませんでした。

しかしながら、7月30日に行われた第21回J A共済学童野球大会秋田やまもと地区予選では見事勝利し、9月30日から秋田市で開催される全県大会への切符を手にしております。

また、峰浜バスケットボールクラブは、7月に由利本荘市で行われた第36回秋田県ミニバスケットボール夏季大会に出場し、準優勝の快挙を成し遂げました。

準決勝を圧勝し、決勝でも第3クォータ終了時点でリードしておりましたが、最終クォータで逆転を許し、惜しくも頂点には届きませんでした。

両チームとも、この経験を生かし、さらに成長されますよう期待しております。

次に、本定例会に提出しております議案の概要についてご説明いたします。

議案第56号、八峰町手数料条例の一部を改正する条例制定については、旅館業法の一部改正に伴う参照条項を整理するため、条例改正しようとするものであります。

議案第57号、八峰町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する規準を定める条例の一部を改正する条例制定については、子ども家庭庁の設置に伴う省令改正に対応するため、条例改正しようとするものであります。

議案第58号、八峰町特定保育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する規準を定める条例の一部を改正する条例制定については、子ども家庭庁の設置に伴う内閣府令改正に対応するため、条例改正しようとするものであります。

議案第59号、八峰町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する規準を定める条例の一部を改正する条例制定については、子ども家庭庁から新たに実施通知が発出されたことに伴い、従前の通知との変更点に対応するため、条例改正しようとするものであります。

議案第60号、令和5年度八峰町一般会計補正予算（第5号）は、23億7,007万2,000円を追加して、歳入歳出予算の総額を97億5,936万1,000円とするもので、主な歳出は、災害復旧費の追加などとなっております。

議案第61号、令和5年度八峰町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）は、9,977万4,000円を追加して、歳入歳出予算の総額を13億8,163万6,000円とするもので、主な歳出は、前年度国庫支出金の精算に伴う返還金の追加などとなっております。

議案第62号、令和5年度八峰町沢目財産区特別会計補正予算（第1号）は、708万

7,000円を追加して、歳入歳出予算の総額を3,093万4,000円とするもので、主な歳出は、自治会等への交付金の追加などとなっております。

議案第63号、令和5年度八峰町簡易水道事業会計補正予算（第1号）は、収益的収入及び支出の予定額に5,356万1,000円を追加して、収益的収入及び支出の予定額を3億3,345万5,000円とするほか、資本的収入及び支出の予定額に2,300万円を追加して、資本的収入の予定額を2億5,660万4,000円に、資本的支出の予定額を3億996万5,000円とするもので、内容は、職員給与費の追加並びに八森、沢目及び埴地区導水管等災害復旧工事費の追加であります。

議案第64号、令和4年度八峰町一般会計歳入歳出決算認定については、令和4年度一般会計決算を認定していただくものであります。

議案第65号から議案第70号までの各案件は、令和4年度各特別会計決算を認定していただくものであります。

議案第71号及び議案第72号は、令和4年度各事業会計決算を認定していただくものであります。

報告第8号は、令和4年度決算に基づく財政の健全化判断比率及び資金不足比率の報告であります。

以上、本定例会でご審議いただく議案は17議案で、報告件数は1件であります。

なお、欄干橋橋梁補修工事契約締結及び旧八森小学校解体工事契約締結につきましては、今定例会の会期中に追加提案させていただきたいと考えております。

詳細につきましては各議案の提案の際にご説明いたしますので、よろしくご審議の上、ご可決賜りますようお願い申し上げます。

○議長（皆川鉄也君） 日程第4、議案第56号、八峰町手数料条例の一部を改正する条例制定についてを議題とします。

当局の説明を求めます。和平総務課長。

○和平総務課長（和平勇人君） 議案第56号についてご説明いたします。

議案第56号、八峰町手数料条例の一部を改正する条例制定について。

八峰町手数料条例の一部を改正する条例を別紙のとおり制定する。

令和5年9月4日提出

八峰町長 堀内満也

提案理由でございます。生活衛生関係営業等の事業活動の継続に資する環境の整備を

図るための旅館業法等の一部を改正する法律による旅館業法の一部改正により、権限を受けている当町においても旅館業法施行条例の一部改正に鑑み、八峰町手数料条例の一部を改正するものでございます。

次のページは条例の改正文でございますが、ご説明につきましては、別に提出しております新旧対照表をご覧ください。

2ページになっておりますが、2ページ目、次のページをご覧ください。

条例改正を要する箇所は、県から権限移譲を受けている旅館業法に関する事務についてでございます。法律改正に伴い、町条例において参照している県条例の規定が改正されたことから、これに倣い、条例の文言について改正するものでございます。

なお、新旧対照表にありますとおり、手数料の額の改正はございません。

説明は以上でございます。よろしくご審議の上、ご可決賜りますようお願いいたします。

○議長（皆川鉄也君） これより議案第56号について質疑を行います。質疑ありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 質疑ないようですので、質疑を終わります。
これより討論を行います。討論ありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 討論ないようですので、討論を終わります。
これより議案第56号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することにご異議ございませんか。
（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 異議なしと認めます。したがって、議案第56号は原案のとおり可決されました。

日程第5、議案第57号、八峰町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定についてを議題とします。

当局の説明を求めます。山内学校教育課長。

○学校教育課長（山内 章君） 議案第57号についてご説明いたします。

議案第57号、八峰町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について。

八峰町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する

条例を別紙のとおり制定する。

令和5年9月4日提出

八峰町長 堀内 満也

提案理由であります。こども家庭庁の設置により、「こども家庭庁設置法等の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備等に関する省令」が定められ、「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」が改正されたため、所要の改正を行うものであります。

次のページに別紙となっております。掲載してありますので、ご覧願います。ご確認願います。

タブレットに掲示している別紙資料をご覧願います。よろしいでしょうか。

概要については、令和5年4月1日のこども家庭庁の設置に伴う省令の一部改正に伴い、条例を一部改正するものであり、先ほどの提案理由の内容でありますので朗読は省略いたします。

次に、主な改正内容と理由についてご説明いたします。

1つ目は、第26条の改正であります。こども家庭庁の設置による所管替えに伴う改正であり、第26条中「厚生労働大臣」を「内閣総理大臣」に改めるものであります。

2つ目は、44条第10号中、エの部分の改正であります。「建築基準法施行令」の次に記載されている括弧書きの「昭和25年政令第338号」の部分が法令条文中2回目の引用であり、必要ないため削除するものであります。

3つ目は、附則の改正であります。第3条中「第7条第1項本文」を「第7条本文」に改めるものであります。引用先の条が1項のみの条であるため、第1項の記載を削除するものです。

施行日につきましては、改正の内容が条例の効力に影響がないものであるため、公布の日とします。

なお、新旧対照表をタブレットに掲示してありますので、現行・改正後のそれぞれ下線分がある箇所について改正をしておりますので、併せてご確認願います。

以上で説明を終わります。ご審議の上、ご承認くださるよう、何とぞよろしくお願いいたします。

○議長（皆川鉄也君） これより議案第57号について質疑を行います。質疑ありませんか。

8番見上政子さん。

○8番（見上政子さん） 児童福祉法の中の保育所、32条、39条とかこういうところは、

厚生大臣の、いろいろなものが厚生大臣の任命とか厚生大臣になってるんですけども、これが全て内閣総理大臣、内閣府の扱いになるとすれば、八峰町の場合、福祉から業務が外れるっていうことになるんですか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの8番議員の質問に対し、答弁を求めます。

（「ちょっと時間」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 休憩いたします。

午前10時31分 休 憩

.....
午前10時31分 再 開

○議長（皆川鉄也君） 休憩前に遡り会議を再開いたします。

山本教育次長。

○教育次長（山本節雄君） ただいまの見上議員のご質問にお答えいたします。

ただいま山内課長がご説明したものにつきましては、家庭的保育事業の条例の改正でございます。で、見上議員のご質問の厚労省、それから厚労省から総理大臣、こういったものに関しましては、上位の条例、法律等が変わりますと、それに合わせた形でこちらの方が変わりますが、実際役場の職務といたしましては、実情に応じまして福祉保健課、教育委員会で分担することになると思われまます。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 質疑ないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。討論ありませんか。8番見上政子さん。

○8番（見上政子さん） 私は、この条例に反対をいたします。

政府提出のこども家庭庁と、それから自民・公明提出のこども基本法が、自民・公明、国民新党で賛成で可決されました。しかし、子どもの置かれている現状は大変深刻です。子どもの貧困率は7人に1人と言われていています。虐待や貧困で苦しむだけでなく、ユニセフの調べでは、OECD38か国の中で子どもの幸福度は20番目、生活満足度は37番目と大変低くなっております。国連の子ども権利条約に批准して30年になりますが、4原則を軽視して現行の体制を変えないでいます。国連の権利委員会からは度重なる勧告を受けています。子どもの権利条約には、子育てへの公的支援を拡充することが求めら

れております。

そもそも当初自民党の党内から出されたこども家庭庁は、家庭とは虐待を受けている子どもにとっては毎日生きてくことに必死な戦場であることから、家庭を子どもを守ることはできないことから省いてこども庁になり、再び党内から子どもの養育の基本理税は家庭を基本とすることを明記し、公明、旧民主党議員の賛成を得たもので変更されております。これは大変重大なことです。

今回の改正で、こども家庭庁設置法は厚生大臣から内閣総理大臣に改められましたが、根本問題に手をつけず、組織いじりをするだけです。これでは子どもの権利侵害を解決することはできません。

以上のことから、児童福祉法、乳幼児保育は総理大臣管轄で、本当の意味の福祉ができるのか疑問であります。

また、児童福祉法19条の中に書かれてますけれども、内閣総理大臣は前項第2号の、まあ前文あるんですけれども、内閣府を定め、また変更するときは、あらかじめ厚生労働大臣に協議しなければならない、こういう大変複雑なものになっております。

学童は文科、文部科学省、以上のことから、主にまんなか世代社会を目指すとしながらも、子ども政策が分散することに矛盾が生じてくると思います。これは地方にとって意義あるものではないと思いますので、反対をいたします。

○議長（皆川鉄也君） ほかに討論ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 討論ないようですので、これで討論を終わります。

これより議案第57号を採決します。この採決は起立で行います。本案に賛成の方の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（皆川鉄也君） 起立多数であります。したがって、議案第57号は原案のとおり可決されました。

日程第6、議案第58号、八峰町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定についてを議題とします。

当局の説明を求めます。山内学校教育課長。

○学校教育課長（山内 章君） 議案第58号についてご説明いたします。

議案第58号、八峰町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準

を定める条例の一部を改正する条例制定について。

八峰町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を別紙のとおり制定する。

令和5年9月4日提出

八峰町長 堀内満也

提案理由であります。こども家庭庁の設置により、「こども家庭庁設置法及びこども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律等の施行に伴う内閣府本府関係内閣府令の整備に関する内閣府令」が定められ、「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準」が改正されたことにより所要の改正を行うものであります。

なお、改正された箇所については、別紙について別紙のとおり次ページに掲載されておりますので、ご確認のほどよろしく申し上げます。

それで、タブレットに掲示してある別紙説明資料をご覧ください。よろしいでしょうか。

概要については、本議案についても、令和5年4月1日のこども家庭庁の設置に伴う省令の一部改正に伴い、条例を一部改正するものであり、先ほどの提案理由の内容のとおりでありますので朗読は省略いたします。

次に、主な改正内容と理由についてご説明いたします。

1つ目は、第15条第1項第4号中「厚生労働大臣」を「内閣総理大臣」に。

2つ目は、第37条第1項中「同省令」を「同令」に。

3つ目は、第44条中「厚生労働大臣」を「内閣総理大臣」に改めるものであります。

以上につきましては、こども家庭庁設置に伴う所管替えによる改正となります。

4つ目は、表現の修正として、第48条中「の定員」を削除するものであります。

5つ目は、引用先の修正として、第51条第3項中「と、「教育・保育給付認定に基づき」を「と、「同号」とあるのは「法第19条第3号」と、「教育・保育給付認定に基づき」に改めるものであります。

施行日につきましては、改正の内容が条例の効力に影響がないものであるため、公布の日とします。

なお、新旧対照表をタブレットに掲示してありますので、現行・改正後のそれぞれ下線部がある箇所について改正をしておりますので、併せてご確認願います。

以上で説明を終わります。ご審議の上、ご承認して下さるよう、何とぞよろしくお願いたします。

○議長（皆川鉄也君） これより議案第58号について質疑を行います。質疑ありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 質疑ないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。討論ありませんか。8番見上政子さん。

○8番（見上政子さん） 58号に反対をいたします。

子どもを預る条件が働く保護者や病気を理由にしたものから基準を拡大して、家庭の事情により入所することができる、これには賛同いたしますけれども、57条と同じく、こども家庭庁がそもそも子どもの置かれている現状を大きく変えず、厚生大臣から内閣総理大臣に変えただけです。

例えば、児童福祉法の設置基準の3、3歳、4歳、5歳児の保育士1人当たりの定員は、昭和23年から変わっておりません。5歳児は30人、こういう状態では諸外国には例がありません。まずこういうことを変えていくことが先決であると思いますので、反対をいたします。

○議長（皆川鉄也君） ほかに討論ありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） ほかに討論ないようですので、これで討論を終わります。

これより議案第58号を採決します。この採決は起立で行います。本案に賛成の方の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（皆川鉄也君） 起立多数です。したがって、議案第58号は原案のとおり可決されました。

日程第7、議案第59号、八峰町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定についてを議題とします。

当局の説明を求めます。山内学校教育課長。

○学校教育課長（山内 章君） 議案第59号についてご説明いたします。

議案第59号、八峰町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について。

八峰町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改

正する条例を別紙のとおり制定する。

令和5年9月4日提出

八峰町長 堀内満也

提案理由であります。令和5年度における放課後児童健全育成事業の実施にあたり、厚生労働省通知が廃止され、こども家庭庁として新たに実施要綱が発出された。この通知の内容を踏まえ、「放課後児童健全育成事業」における職員要件（研修修了予定者）の内容について所要の改正を行うものであります。

別紙については、次のページに載っておりますのでご確認願います。

タブレットに掲示している別紙説明資料をご覧ください。よろしいでしょうか。

概要については、条例の一部改正であり、先ほどの提案理由の内容でありますので朗読は省略いたします。

改正内容につきましてご説明いたします。

今回の附則、括弧、職員の経過措置、附則第3項（第9条第3項）の規定の適用についての改正により、研修修了予定者について2年間の研修修了期限は課されるもの、研修修了予定者を放課後児童支援員とみなし、措置自体は当分の間有効となります。

施行日につきましては、公布の日といたします。

なお、新旧対照表をタブレットに掲示しておりますので、現行・改正後のそれぞれ下線部のある箇所について改正をしておりますので、併せてご確認願います。

以上で説明を終わります。ご審議の上、ご承認して下さるよう、何とぞよろしくお願いいたします。

- 議長（皆川鉄也君） これより議案第59号について質疑を行います。質疑ありませんか。11番山本優人君。
- 11番（山本優人君） 現在の支援員の数と、これから研修予定者っていう人数、これを報告してください。
- 議長（皆川鉄也君） ただいまの11番議員の質問に対し、答弁を求めます。山内学校教育課長。
- 学校教育課長（山内章君） 山本議員の質問にお答えいたします。

現時点で支援員の人数は、八森児童クラブ3人、峰浜児童クラブ4人です。

なお、現在、当町の放課後児童クラブの支援員については、全員、認定資格研修修了者となっております。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ございませんか。8番見上政子さん。

○8番（見上政子さん） 伺います。

まあそこに勤め始めてから研修を受ける予約、予定者が2年以内に資格を取るということだと思えるんですけども、実際その働きながら資格を取るのに、まあ放課後児童クラブは2時半頃から始まるんですか、働きながらその資格を取るのにどういうふうな配慮をして、これは全面的に町の負担で行われているのか。会場は秋田市の方で行われるとか、本当に資格を取りやすい状況になってるのかどうかというのをちょっと伺いたいと思います。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの8番議員の質問に対し、当局の答弁を求めます。山内学校教育課長。

○学校教育課長（山内 章君） 見上議員の質問にお答えします。

後段の方から。期間は、期間っていうか場所はそれぞれありまして、中央地区とか北部地区とか県南地区の3つに分かれております。まず、うちの方は北部地区なので、期間の方は8月31から11月9日までの形で、県近の方で会場をどこだ……会場は県北地区の会場で、あくまでもこう受けやすい近いところとあっていう形で、3つに分けた形で対応しているところでございます。県の方でも日程の方工夫して、日付をこう4日間に、あ、4日間に、8日間か、8日間に分けており、小刻みでこう研修を受けていくような形で、まず8日間の設けた中で、全部その年にできなくても2年間にわたってできるような形で対応っておりますので、まず支援員の方もそれぞれ峰浜4人、八森3人とおりますが、全体で通した形で放課後児童クラブの方の運営に支障がないような形で体制を整えて対応しているところでございます。

以上で終わります。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ないようですので、これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 討論ないようですので、討論を終わります。

これより議案第59号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定すること

にご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長（皆川鉄也君） 異議なしと認めます。したがって、議案第59号は原案のとおり可決されました。

休憩いたします。55分より再開をいたします。

午前10時49分 休 憩

.....
午前10時55分 再 開

○議長（皆川鉄也君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第8、議案第60号、令和5年度八峰町一般会計補正予算（第5号）を議題とします。

当局の説明を求めます。田村副町長。

○副町長（田村 正君） それでは、議案第60号、令和5年度八峰町一般会計補正予算（第5号）についてご説明をいたします。

令和5年度八峰町の一般会計補正予算（第5号）は、次に定めるところによる。

第1条、歳入歳出予算の補正につきましては、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ23億7,007万2,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ97億5,936万1,000円とするものでございます。

改正後の歳入歳出の金額につきましては、「第1表 歳入歳出予算補正」のとおりでございます。

第2条、債務負担行為の補正につきましては、債務負担行為の変更で、「第2表 債務負担行為補正」のとおりでございます。

第3条、地方債の補正につきましては、地方債の変更で、「第3表 地方債補正」のとおりでございます。

令和5年9月4日提出

八峰町長 堀 内 満 也

それでは、3ページをお開きください。

第2表、債務負担行為補正でございます。

定住促進用住宅借上げにかかる債務負担行為の限度額を変更するもので、補正前の限度額285万円に275万円を追加し、補正後の限度額を560万円にするものでございます。

これは、定住促進用住宅の借上げを募集したところ、当初1棟分を見込んでおりましたが、予算の範囲内で2棟改修できる見込みであることから、1棟分の借上料を追加するものでございます。

次に、第3表、地方債補正でございます。

7月の豪雨災害にかかる災害復旧費の充当財源として、農地・農業用施設災害復旧事業債の限度額に6億6,060万円を追加し、補正後の限度額を6億9,300万円に変更するものと、それから公共土木施設災害復旧事業債の限度額に2億3,550万円を追加し、補正後の限度額を2億6,070万円とするものでございます。

次に、歳入歳出の主な補正理由について、事項別明細書に基づいてご説明いたします。

7ページ・8ページをお開きください。

まず歳入でございます。

15款国庫支出金1項国庫負担金1目民生費国庫負担金1節社会福祉費負担金につきましては、令和4年度の事業費確定により過年度分として低所得者介護保険料軽減負担金13万4,000円を追加するものでございます。

3目災害復旧事業費国庫負担金1節公共土木施設災害復旧費負担金につきましては、町道及び河川、橋梁の災害復旧にかかる国庫負担金として4億6,690万円を追加するものでございます。

2節農林水産施設災害復旧費負担金につきましては、農地及び農道、水路等の災害復旧にかかる国庫負担金として7億3,400万円を追加するものでございます。

次に、2項国庫補助金2目民生費国庫補助金1節社会福祉費補助金につきましては、歳出に移動支援事業委託料を追加計上したことに伴い、地域生活支援事業費等補助金169万1,000円を追加するものでございます。

次に、16款県支出金2項県補助金2目民生費県補助金1節社会福祉費補助金のうち、地域生活支援事業費補助金につきましては、歳出に移動支援事業委託料を追加計上したことに伴い、84万5,000円を追加するものでございます。

次の介護保険施設等物価高騰対策事業費補助金につきましては、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、介護保険施設等の運営を維持し、利用者の生活の質を確保する事業費に対する補助金として162万9,000円を追加するものでございます。

次の障害者支援施設等物価高騰対策事業費補助金につきましては、同じく電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、障害者支援施設等の運営を維持し、利

用者の生活の質を確保する事業費に対する補助金として24万円を追加するものでございます。

次に、4目農林水産業費県補助金1目農業費補助金のうち、鳥獣被害対策実施隊支援事業補助金につきましては、鳥獣被害対策実施隊の全国統一ユニフォーム購入費に対する補助金として7万8,000円を追加するものでございます。

次の農業・漁業経営フォローアップ資金預託金貸付事費補助金につきましては、豪雨災害を受けた農家を対象に無利子貸付を行う事業の利子助成分に対する補助金として18万1,000円を追加するものでございます。

次の晩霜害からの果樹産地復旧支援費補助金につきましては、4月の晩霜、いわゆる遅霜でございますが、晩霜による被災農家に対し果樹の防除経費を支援する事業に対する補助金として100万円を追加するものでございます。

9ページ・10ページをお開きください。

19款繰入金1項特別会計繰入金1目介護保険特別会計繰入金につきましては、介護保険特別会計からの繰入金で2,659万1,000円を追加するものでございます。

次に、20款繰越金1項繰越金1目繰越金につきましては、歳入歳出補正の財源確保のため、前年度繰越金2億3,962万4,000円を追加するものでございます。

次に、21款諸収入5項雑入5目助成金1節助成金につきましては、歳出に後期高齢者歯科健診事業の委託料を追加計上したことに伴い、後期高齢者医療広域連合からの歯科健診事業補助金として97万9,000円を追加するものでございます。

次に、6目雑入4節雑入につきましては、7月の豪雨災害の見舞金として、栃木県茂木町から5万円、秋田県町村議会議長会から3万円をいただいております。この災害見舞金8万円を追加するものでございます。

次に、22款町債1項町債7目災害復旧事業債1節農林水産業施設災害復旧事業債につきましては、農地及び農道、水路等の災害復旧事業債として6億6,060万円を追加するものでございます。

2節公共土木施設災害復旧事業債につきましては、町道及び河川、橋梁の災害復旧事業債として2億3,550万円を追加するものでございます。

11ページ・12ページをお開きください。

続きまして、歳出をご説明いたします。

はじめに、1款議会費についてご説明いたします。

1目議会費8節の旅費につきましては、今後不足が見込まれることから、特別旅費11万2,000円を追加するものでございます。

次に、2款総務費についてご説明いたします。

1項総務管理費1目一般管理費8節旅費につきましては、今後不足が見込まれることから、職員旅費56万円を追加するものでございます。

次に、4目会計管理費11節役務費につきましては、収納代理金融機関とのデータ通信の際に現在ISDN回線を使用しておりますが、このISDN回線の使用が令和6年1月までとなっておりますので、回線切り替えに伴う関係費用として通信運搬費に14万6,000円を追加するものでございます。

5目財産管理費12節委託料につきましては、旧湯っこランドを無償で譲渡しましたが、建物表題登記を行うに当たり測量業務も必要でありますので、登記及び測量業務委託料10万円を追加するものでございます。

6目企画費13節使用料及び賃借料につきましては、当初、定住促進用空き家改修事業を1棟分見込んでおりましたが、借上げの募集をしたところ、程度の良い物件の申し込みがあったことから、予算の範囲内で2棟改修できる見込みとなり、1棟分の空き家借上料17万5,000円を追加するものでございます。

7目電子計算費12節委託料につきましては、自治体DX計画の作成に当たり専門的知見が必要となりますが、本町職員のみでは専門的知見が不足しており、専門的な知識を有するCIO補佐官が必要であり、その業務委託料350万円を追加するものでございます。

18節負担金補助及び交付金につきましては、令和6年度課税分から特別徴収税額通知の電子化が開始されることに伴い、電算システムの改修が必要となることから、秋田県町村電算システム共同事業組合負担金136万6,000円を追加するものでございます。

次に、3款民生費についてご説明いたします。

1項社会福祉費3目障害福祉費10節需用費につきましては、事務に伴う消耗品6,000円を追加するものでございます。

11節役務費のうち、通信運搬費につきましては、郵送料1,000円を追加するもので、手数料につきましては、口座振込手数料2,000円を追加するものでございます。

12節委託料につきましては、移動支援事業の利用者の増加とタクシー運賃の改定が行われたことに伴い、今後不足が見込まれることから、移動支援事業委託料338万3,000円

を追加するものでございます。

13ページ・14ページをお開きください。

14ページの上の方でございますが、18節負担金補助及び交付金につきましては、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、町内の障害者支援施設に対して入所定員1人当たり1万2,000円を、通所定員1人当たり6,000円を補助するもので、障害者支援施設等物価高騰対策事業補助金として48万円を追加するものでございます。

次に、6目介護保険費10節需用費につきましては、事務に伴う消耗品3万4,000円を追加するものでございます。

11節役務費のうち、通信運搬費につきましては、郵送料3,000円、手数料につきましては、口座振込手数料3,000円を追加するものでございます。

18節負担金補助及び交付金につきましては、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、町内の介護保険施設に対して入所定員1人当たり1万2,000円を、通所定員1人当たり6,000円を補助するもので、介護保険施設等物価高騰対策事業補助金として325万8,000円を追加するものでございます。

次に、7目後期高齢者医療費12節委託料につきましては、歯科健診の受診者が当初の見込みより増加しており、今後不足が見込まれることから、後期高齢者歯科健診業務委託料として97万9,000円を追加するものでございます。

次に、4款衛生費についてご説明いたします。

3項水道費1目簡易水道施設費18節負担金補助及び交付金につきましては、災害復旧事業のため、簡易水道事業会計への補助金として3,501万7,000円を追加するものでございます。

次に、6款農林水産業費についてご説明いたします。

1項農業費3目農業振興費18節負担金補助及び交付金のうち、秋田県園芸作物価格補償事業負担金につきましては、園芸作物の価格下落に対する補償事業であり、秋田県青果物協会への負担金として40万3,000円を追加するものでございます。

次の補助金のうち、八峰町農業生産費高騰対策支援補助金につきましては、6月議会において予算計上した後に新たに3棟増棟した方がおりまして、しいたけハウス3棟分の補助金として43万円を追加するものでございます。

15ページ・16ページをお開きください。

16ページの一番上の方でございます。晩霜害からの果樹産地復旧支援事業費補助金に

つきましては、4月の晩霜による被災農家に対し果樹の防除経費を支援する事業の補助金として200万円を追加するものでございます。

その下の農業・漁業経営フォローアップ資金預託金貸付事業費補助金につきましては、豪雨災害を受けた農家の対象に無利子貸付を行う事業の利子助成をするもので、30万円を追加するものでございます。

次に、8目鳥獣被害対策事業費18節負担金補助及び交付金につきましては、鳥獣被害対策実施隊が着用する全国統一のユニフォーム購入費として、猟友会に補助金として17万2,000円を追加するものでございます。

次に、2項林業費3目林道整備費につきましては、石川地区の林道熊沢線にかかる追加補正で、既に工事は終えておりますが、相続の関係で一部用地買収及び登記の手続きができない状況にありましたが、このたび手続きができる見込みとなりましたので、11節役務費に土地分筆等登記手数料として4万4,000円を追加し、16節公有財産購入費に土地購入費3万3,000円を追加するものでございます。

次に、7款商工費についてご説明いたします。

1項商工費2目商工振興費18節負担金補助及び交付金につきましては、町の産業振興促進条例に基づき、合同会社fish doorとcochiデザイン事務所へ補助する産業振興施設整備費補助金として280万円を追加するものでございます。

次に、3目観光費の7節報償費と旅費につきましては、御所の台エリアの再構築事業費の追加でございまして、7節報償費につきましては、県外民間企業の方から御所の台エリアを含む本町の観光振興や地域活性化につながる助言をいただくための講師謝礼金として16万円追加するものでございます。

また、8節旅費のうち、費用弁償につきましては、同じく講師の方に対する費用弁償21万3,000円を追加するもので、職員旅費につきましては、県外民間企業の訪問にかかる職員分の旅費で35万6,000円を追加するものでございます。

10節需用費と11節役務費につきましては、8月4日の議会臨時会において、三十釜や中央公園、留山の散策路などの修繕料をこの観光費の項目に予算措置しましたが、11款の災害復旧費に計上すべきと判断し、予算の一部を組み替えするもので、10節需用費の修繕料500万円と11節役務費の手数料100万円をそれぞれ減額するものでございます。

17ページ・18ページをお開きください。

次に、10款教育費についてご説明いたします。

2項小学校費1目峰浜小学校費10節需用費につきましては、放送設備の故障により1階の職員室、ランチルーム、図書室、保健室で放送が聞こえない状況でございます。その修繕料として31万1,000円を追加するものでございます。

次に、11款災害復旧費についてご説明いたします。

1項公共土木施設災害復旧費1目公共土木施設災害復旧費につきましては、7月の豪雨による町道及び河川、橋梁の災害復旧事業の予算を計上しております。

このうち、3節職員手当等につきましては、職員の時間外休日勤務手当100万円を追加するものでございます。

12節委託料につきましては、公木土木施設の災害測量設計等業務委託料1,250万円を追加するものでございます。

14節工事請負費につきましては、町道が11路線で18か所、河川が7河川で18か所、橋梁が1か所の災害復旧工事請負費として6億9,000万円を追加するものでございます。

次に、2目公園災害復旧費につきましては、先ほど7款商工費の3目の観光費のところでもご説明しましたとおり、観光費から災害復旧費に予算を組み替える分として10節需用費の修繕料に400万円、11節役務費の手数料に50万円を追加するものでございます。

次に、2項農林水産費施設災害復旧費2目農地・農業用施設災害復旧費14節工事請負費につきましては、7月の豪雨による災害復旧工事費で、農地が103か所、水路が56か所、農道が18か所、頭首工などその他の施設が9か所の災害復旧工事費として14億6,800万円を追加するものでございます。

次の19ページ・20ページをお開きください。

次に、13款諸支出金についてご説明いたします。

2項基金費1目財政調整基金費につきましては、令和4年度一般会計決算により2億7,507万5,000円の余剰金が生じております。あ、剰余金が生じております。地方財政法第7条第1項の規定により、当該剰余金の2分の1以上の額を基金に積み立てることとされておりますので、このたび1億4,000万円を財政調整基金に積み立てるものでございます。

次に、3項諸費1目国県支出金返納金につきましては、令和4年度分の事業精算にかかる返納金でございます。自立支援給付費、それから障害者医療費国庫負担金、障害児入所給付費等国庫負担金、コロナセーフティネット強化交付金、感染症予防事業費等国庫補助金の合わせて5件で372万6,000円を追加するものでございます。

説明は以上でございます。何とぞよろしくご審議いただきまして、ご承認くださいますようお願いいたします。終わります。

○議長（皆川鉄也君） これより議案第60号について質疑を行います。質疑ありませんか。3番奈良聡子さん。

○3番（奈良聡子さん） 15ページの7款商工費、ちょっと聞き逃したんですけども、この補助金280万円、この内容をもう一度教えてください。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの3番議員の質問に対し、答弁を求めます。山本産業振興課長。

○産業振興課長（山本 望君） ただいまの質問にお答えいたします。

7款1項2目商工振興費の産業振興施設整備費補助金2件、280万円のことだと思います。1件は、fish door、fish doorの加工施設の整備、1,400万円ほどかかるものがございます。その10分の1で140万円。もう一件が旧湯っこランドのサウナ施設の整備、こちらも総事業費で1,400万円ほどかかるということで、その10分の1で140万円という内容でございます。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ございませんか。8番見上政子さん。

○8番（見上政子さん） 14ページの物価高支援高騰対策として障害者支援と介護施設がありますけれども、障害者施設の就労施設A型、B型とかありますけれども、どのような施設にどの金額なのか。それから、介護施設はかなりありますけれども、大きさ、小ささ、人数とかいろいろあるんでしょうか。そこ教えてください。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの8番議員の質問に対し、答弁を求めます。石上福祉保健課長。

○福祉保健課長（石上義久君） ただいまの見上議員のご質問にお答えいたします。

はじめに、障害者施設の物価高という形でございますが、こちらの補助金につきましては、県が実施いたします、要は燃料費等の高騰による交付金事業でございます。障害者、介護施設等につきましても、施設、入所施設については先ほど副町長からも説明あったとおり、単価としては1万2,000円、定員で交付いたします。で、通所施設が6,000円、半分の方で交付することとなります。

その内訳としましては、障害福祉施設につきまして、障害者施設グループホームらべんだー、5人定員でございます。障害者通所施設さくら苑、ハッピーマッシュ、合わせて70の定員となっております。同じく介護保険施設、入所施設につきましては、特別養

護老人ホーム海光苑、松波苑、合わせて軽費老人ホームのぶなの森、グループホーム花梨、ふるさと、松峰園、水沢の里、親孝の里、こちら八峰町内の施設でございますが、合わせて海光苑、松波苑のショートステイ事業、全241定員でございます。続いて通所の施設につきましては、海光苑、松波苑、それぞれデイサービス、あとは松峰園のデイサービス、定員が61人となっておりますので、こちらの方、定員で全て全額補正計上という形です。

ご質問の内容は以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ございませんか。8番見上政子さん。

○8番（見上政子さん） ただいま課長から言われた、口頭でちょっと聞き取りづらかったところもありますので、資料として出してください。

（「紙で出してください」と呼ぶ者あり）

○福祉保健課長（石上義久君） はい、分かりました。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。9番須藤正人君。

○9番（須藤正人君） 補正予算で24億近い補正が一気に出るということは、私の経験ではかつてなかったことです。それも今回の7月の大雨による災害復旧のための災害に対する予算であります。国から12億、そして町の災害復旧の、何だ、災害費、これから9億円ほどなります。歳入を見ても、県からのこの災害に対する補助金、これが見当たりません。もちろんまだ県の中で、この災害、全県の災害を把握してない、そしてそれに対する補助金がまだ決まってないということかもしれませんが、町としてはどれくらいの県からの補助金、それをもくろんでいるのか。まずお伺いしたいと思います。

この災害復旧債が9億、これも借金でありますから、町で少しずつ返していかなければなりません。この、こういう災害というのは、気候変動によってこれからも多く見られるのではないかというふうに思います。財政がますます困窮するこういう八峰町の中で、この今後の財政をどういうふうに運営していくのかというのは大きな課題であろうと思います。町長のお考えをお伺いしたいと思います。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの9番議員の質問に対し、答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 須藤議員のご質問にお答えいたします。

まず1つ目の県からの財政出動どのくらいを見込んでいるかというところに関しましては、この事業ですね、災害復旧事業、国の事業でございますので、現時点で県からの支出はないというふうに捉えております。ただ一方で、国の事業なんですけども、それ

に合致しなかったものが、おそらく今後、県単債というような形で査定を受けるようなこととなろうと思います。そういった場合は、また県の方からの支出がありますので、ちょっとどのくらいになるかっていうのは現時点では分かりませんが、そういった制度の中でしっかりやっていきたいなというふうに思っております。

そしてまた、まあ激甚化、頻発化しておりますこの災害に向けてですね、町の財政状況も相当厳しくなるといったところがございます。まあ八峰町だけでなくですね、全国的なこれは課題だというふうに思っておりますので、国にもですね、このハード整備、ソフト整備ともにですね、国からの支援を何とかよろしくお願ひしたいというような形で、今後、市長さん、あるいは県と一緒に国に対して働きかけてまいりたいというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ありませんか。8番見上政子さん。

○8番（見上政子さん） 14ページ、まあ12ページから14ページのところで、これ社会福祉費なるか、移動支援委託料、移動支援事業委託料、これまあ338万3,000円と増額になってるんですけども、これはデマンドですよ。違う。あ、じゃあそこら辺ちょっと教えてください、どういう内容なのか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの8番議員の質問に対し、答弁を求めます。石上福祉保健課長。

○福祉保健課長（石上義久君） ただいまの見上議員のご質問にお答えいたします。

ご質問の趣旨としましては、3款1項3目の12節の委託料ということでお間違いないかと思いますが、こちら先ほど副町長の説明にもあったとおり、道路運送法による運賃の単価変更がございました。併せて障がい者、利用されている障がい者の利用が、利用時間が増えたということでご説明しております。若干質問の後段で確認がありましたデマンドにつきましては、町内で行っている町の公共運送事業でございます。こちら障害者福祉で実施しておりますのは、町外に行く場合も含めた通院ですとか買い物ですとか手続きの関係ですとか、そういったことで利用していただいている事業でございます。現状、単価の変更は増額なった部分と、併せて利用者の増加につきましては、障がいを持っている方が年度当初より増えているということと、内容につきましては、まあ極めて多くの割合ですけども、通院に伴うものでございます。

説明は以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 質疑ないようですので、これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 討論ないようですので、これで討論を終わります。

これより議案第60号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 異議なしと認めます。したがって、議案第60号は原案のとおり可決されました。

日程第9、議案第61号、令和5年度八峰町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）を議題とします。

当局の説明を求めます。石上福祉保健課長。

○福祉保健課長（石上義久君） 議案第61号についてご説明いたします。

議案第61号、令和5年度八峰町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）。

令和5年度八峰町の介護保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9,977万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ13億8,163万6,000円とする。

令和5年9月4日提出

八峰町長 堀内満也

詳細につきましては、事項別明細書6ページ以降をご覧くださいながら順に説明いたします。

6ページ・7ページをお願いいたします。

歳入、8款1項1目1節前年度繰越金に9,977万4,000円を追加補正するものでございます。

内訳につきましては、充当財源となる歳出にて詳細をご説明させていただきますので、次のページをお願いいたします。

歳出、5款地域支援事業費3項2目任意事業費の19節扶助費、成年後見制度利用支援

事業助成金28万円の追加補正は、生活保護費を受給されている方が秋田家庭裁判所能代支部へ提出していた町長申し立てがこのたび認められ、対象者の成年後見人が選定されたことにより、町成年後見制度利用支援事業実施要綱の後見人等の報酬の助成等の規定に基づき追加補正するものでございます。

次に、6款諸支出金1項3目償還金22節の国庫支出金等過年度分返還金7,290万3,000円の追加補正は、介護給付並びに地域資源事業の令和4年度事業確定による精算にかかる返還金でございます。こちらは、特別養護老人ホームや介護保険施設等、施設介護給付費並びに通所系の居宅介護給付費の減に伴うものであります。主な要因としましては、クラスター発生等を含む新型コロナウイルス感染症が影響したものと推測しております。

同じく2款繰出金1目27節繰出金に2,659万1,000円の追加は、6款1項3目22節償還金と同じく、令和4年度の事業確定による精算に伴う一般会計への繰出金の追加補正です。

説明は以上でございます。よろしくご審議のほどお願いいたします。

○議長（皆川鉄也君） これより議案第61号について質疑を行います。質疑ありませんか。11番山本優人君。

○11番（山本優人君） この扶助費について質問します。

先ほど1件、まあその相談員っていうか、受け入れるための扶助が成立したということですけども、こう1件ごとに今後も28万というふうな金額が生じてくるのかどうか。まあこの条件っていうものをもう少し詳しく説明してください。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの11番議員の質問に対し、答弁を求めます。石上福祉保健課長。

○福祉保健課長（石上義久君） ただいまの山本議員のご質問にお答えいたします。

成年後見人制度につきましては、通常、自分が判断能力が十分でない高齢者や知的障がい、精神障がいを持っている人の福祉の増進のために各実施、その自己財産、その他権利に担保するために実施している事業でございます。その中で成年後見人制度利用支援事業、実施事業につきましては、それを負担できない生活扶助を受給されている方の請求その他、成年後見人に対しての費用を負担すべき金額を町の公費において補填してやるという事業になっております。月額につきましては、最大、在宅の場合は2万8,000円、社会福祉施設等につきましては月額1万8,000円を限度として助成することと規定しております。

このたびの発生は、6月28日決定において、あ、後見人が決定したことにおいて補正させていただいた状況でございます。現在まだそちらの請求には至っておりませんので、今年度末までの部分を補正で今対応させていただきたいという追加補正の内容でございます。

説明は以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ございませんか。11番山本優人君。

○11番（山本優人君） 改めて聞きますが、まあ今後も5人、10人と、この後見人が出るたびごとに、その指定された3万円なり1万8,000円なりというのが生じてくるということなのでしょうか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの11番議員の質問に対し、答弁を求めます。石上福祉保健課長。

○福祉保健課長（石上義久君） ただいまの山本議員のご質問に回答いたします。

事実、生活保護受給されている方がそういったケースで発生した場合は、町で補填するという予算を確保することはありますが、実際にそれが執行されるかどうかというのは、後見人、合わせてご本人さんの申し出によるものでございますので、全部が全部、予算的に執行されるかどうかは不明という回答になってしまいますけども、今後、生活保護受給者等が後見人を設定した場合には、こういった予算措置が必要になってきますし、生存されている間、そういった手続きを踏まえて毎年度措置する形になります。

説明は以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ないようですので、これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 討論ないようですので、討論を終わります。

これより議案第61号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 異議なしと認めます。したがって、議案第61号は原案のとおり可

決されました。

日程第10、議案第62号、令和5年度八峰町沢目財産区特別会計補正予算（第1号）を議題とします。

当局の説明を求めます。和平総務課長。

○和平総務課長（和平勇人君） 議案第62号についてご説明いたします。

議案第62号、令和5年度八峰町沢目財産区特別会計補正予算（第1号）。

令和5年度八峰町の沢目財産区特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出総額に歳入歳出それぞれ708万7,000円を追加し、歳入歳出の総額を歳入歳出それぞれ3,093万4,000円とする。

令和5年9月4日提出

沢目財産区管理者

八峰町長 堀内満也

補正予算の内容につきましては、6ページ以降の事項別明細書に基づき歳入歳出の順にご説明いたします。

はじめに、歳入をご説明いたします。

6・7ページをご覧ください。

1款財産収入1項財産運用収入につきましては、今年度の土地貸付収入が当初予算計上額を上回る見込みとなりましたので、予算未計上分145万8,000円の追加補正でございます。

2項財産売払収入につきましては、今年度の立木売払収入が当初予算計上額を上回る見込みとなりましたので、予算未計上分546万2,000円の追加補正でございます。

2款繰越金につきましては、令和4年度の繰越金が686万7,964円と確定しましたので、予算未計上分16万7,000円の追加補正でございます。

次に、歳出をご説明いたします。

8・9ページご覧ください。

1款財産区管理会費1項総務管理費2目財産管理費につきましては、歳入の追加補正に伴う各郷中等への交付金として18節負担金補助及び交付金に882万円の追加補正でございます。

2款予備費につきましては、歳入歳出の総額の調整のため173万3,000円を減額補正す

るものでございます。

説明は以上でございます。よろしくご審議の上、ご可決賜りますようお願いいたします。

○議長（皆川鉄也君） これより議案第62号について質疑を行います。質疑ありませんか。
8番見上政子さん。

○8番（見上政子さん） この土地貸付収入につきまして、なぜ増えたのかっていうことと、それから138万5,000円、これは各自治会に交付されるようですけども、その自治会に、何自治会あるのか分かりませんが、その各自治会どのくらい交付されるのか教えてください。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの8番議員の質問に対し、答弁を求めます。和平総務課長。

○和平総務課長（和平勇人君） ただいまの見上議員のご質問にお答えします。

土地貸付収入の主な増額の要因につきましては、陸上の風力発電、白神ウインド合同会社のものがほとんどでございますが、これらの貸付収入が増えたことによるものでございます。

あと、交付金の内訳でございますが、今年度の交付金につきましては、まだちょっと内訳の集計をしておりませんので、お答えしかねる部分がございます。後ほどご回答させていただきますと思います。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ないようですので、これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 討論ないようですので、討論を終わります。

これより議案第62号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 異議なしと認めます。したがって、議案第62号は原案のとおり可決されました。

日程第11、議案第63号、令和5年度八峰町営簡易水道事業会計補正予算（第1号）を

議題とします。

当局の説明を求めます。浅田建設課長。

○建設課長（浅田善孝君） 議案第63号についてご説明いたします。

議案第63号、令和5年度八峰町営簡易水道事業会計補正予算（第1号）。

第1条、令和5年度八峰町簡易水道事業会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによります。

今回の補正予算は、7月14日からの豪雨により被害を受けた水道施設の災害復旧にかかる経費を追加補正するものです。

第2条、業務の予定量の補正は、予算第2条に定めた業務の予定量の「（4）主要な建設改良事業」に次の項目を加えるものです。

リ 八森地区導水管災害復旧工事 事業費1,000万円。

ヌ 沢目地区配水管災害復旧工事 事業費500万円。

ル 埴地区導水管災害復旧工事 事業費800万円。

内容は、被災した3水道施設の災害復旧工事を追加補正するものです。

次に、第3条、収益的収入及び支出の補正は、予算第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正するものです。

収入です。第1款水道事業収益第3項特別利益に5,356万1,000円を追加補正するものです。

次に、支出です。第1款水道事業費用第3項特別損失に5,356万1,000円を追加補正するものです。

次に、第4条、収益的収入及び支出の補正は、予算第4条に定めた資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正するものです。

第1款収益的収入第1項企業債に1,150万円、第4項補助金に1,150万円、合わせて2,300万円をそれぞれ追加補正するものです。

次に、支出です。第1款収益的支出第1項建設改良費に2,300万円を追加補正するものです。

第5条、企業債の補正は、予算第5条に定めた起債の限度額1億2,360万円に1,150万円を追加し、1億3,510万円とするものです。

第6条、議会の議決を経なければ流用できない経費の補正は、予算第8条に定めた職員給与費2,195万円に45万円を追加し、2,240万円とするものです。

第7条、他会計からの補助金の補正は、予算第9条に定めた額1億2,138万4,000円に3,501万7,000円を追加し、1億5,640万1,000円とするものです。

令和5年9月4日提出

八峰町長 堀内満也

次に、第3条、収益的収入及び支出の補正及び第4条、資本的収入及び支出の補正の内容について、別紙資料にてご説明いたします。

はじめに、第3条、収益的収入ですが、第1款第3項第1目その他特別利益の節、その他特別利益につきましては、災害による損失の災害復旧費仮復旧費の2分の1を国が補助する災害復旧費国庫補助金としまして1,850万円、災害復旧費一般会計補助金として3,501万7,000円、被災資産の除却に係る長期前受金戻入として4万4,000円の追加で、合わせて5,356万1,000円を追加するものです。

次に、支出です。第1款第3項第2目災害による損失の節、災害による損失につきましては、職員の時間外勤務手当として45万円、施設各所の清掃等作業にかかる手数料として250万円、災害復旧計画書及び災害査定設計書作成業務委託料として1,200万円、出水口の土砂撤去等にかかる重機借上料として150万円、被災した3水道施設の仮復旧として3,700万円、被災資産の除却費として11万1,000円の追加で、合わせて5,356万1,000円を追加するものです。

次に、第4条、資本的収入ですが、第1款第1項第1目企業債の節、災害復旧事業債につきましては、簡易水道災害復旧事業債として1,150万円を追加するものです。

次に、第1款第4項第1目国庫補助金の節、国庫補助金につきましては、災害復旧費国庫補助金として1,150万円を追加するものです。

次に、支出です。第1款第1項第3目災害復旧事業費の節、工事請負費につきましては、八森地区導水管災害復旧工事として1,000万円、沢目地区配水管災害復旧工事として500万円、埜地区導水管災害復旧工事として800万円の追加で、合わせて2,300万円を追加するものです。

なお、今後は国の災害査定を今年12月に予定しているため、本格的な復旧工事は年度明けからを計画しております。

説明は以上です。よろしくご審議いただき、ご承認くださいますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（皆川鉄也君） これより議案第63号について質疑を行います。質疑ありませんか。

11番山本優人君。

○11番（山本優人君） 工事請負費のこの具体的な中身、まあ八森、沢目、埜地区の、
どういう状況でどういうふうに損害を被ってるのか、もうちょっと詳しく報告してくだ
さい。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの11番議員の質問に対し、答弁を求めます。浅田建設課
長。

○建設課長（浅田善孝君） ただいまの山本議員のご質問にお答えします。

八森地区導水管災害復旧工事ですけども、泊川にある取水から八森への浄水場までの
区間、林道のところに入ってるんですけども、その区間の導水管が被害を受けまして、
現在仮工事、仮復旧の状況で給水している状態です。こちらの方を本復旧する、林道災
害と合わせて本復旧していくというふうな感じで考えてます。

あと、沢目地区配水管災害復旧工事ですけども、まあ皆さんもご存じのとおり、ダム
線が道路ごところ崩落して、中に入っている管が壊れてしまいました。現在もやっぱり
仮復旧で仮設管で切り回ししてますけども、そちらの方を道路の災害復旧工事と合わせ
て本管の方に布設替えするような感じで考えてます。

で、埜地区導水管災害復旧工事、これも取水の方から埜の配水池までの導水管の方が、
林道に入っている導水管ですけども、それが道路が削られて管がもうは壊れてしまっ
たということで、現在も仮設の方で切り回ししているような状態です。こちらの方も林道
災害の方の復旧と合わせて本管の方を布設していくというようなことで検討しています。

説明は以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ございませんか。3番奈良聡子さん。

○3番（奈良聡子さん） ちょっと基本的な質問でちょっと申し訳ないんですけども、こ
の収益的収入と資本的収入、これ両方に災害復旧という名目で予算措置されてるわけ
ですけど、この違いについてちょっと説明していただけないでしょうか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの3番議員の質問に対し、答弁を求めます。浅田建設課
長。

○建設課長（浅田善孝君） ただいまの奈良議員のご質問にお答えします。

収益的支出の方に計上されている災害復旧費の仮復旧ですけども、先ほど話しました
ように本管の導水管とか配水管が壊れてしまったので、とりあえずは仮設で切り回しし
て給水している状態が、今回収益的に上がっている仮復旧工事3,700万円の方になりま

す。

で、資本的支出の方の工事請負費、これは仮復旧から本復旧に管をきちんと変えていくというふうな工事の方になりますので、こちらの方を資本的支出の方に計上させていただきます。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ございませんか。8番見上政子さん。

○8番（見上政子さん） まあ全て災害における損失だと思うんです、思いますが、激甚指定になりましたので、今後、この見積もりとか変動とか国からの増額とか、そういうことが見込まれるのでしょうか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの8番議員の質問に対し、答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 見上議員のご質問にお答えいたします。

ご承知のとおり、新聞報道等にもありましたけども、激甚化指定が閣議決定されたというところがございます。これに伴い、この水道事業だけでなく、先ほど申し上げました一般会計の方の災害復旧事業も国費の方がかなり増額が見込まれているところがございます。その辺しっかりとですね、率等決まり次第ですね、また改めて議会の方に報告させていただきたいと思います。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ないようですので、これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 討論ないようですので、これで討論を終わります。

これより議案第63号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 異議なしと認めます。したがって、議案第63号は原案のとおり可決されました。

休憩いたします。午後1時より再開いたします。

午前11時58分 休 憩

午後 1時00分 再 開

○議長（皆川鉄也君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第12、発議第6号、決算特別委員会の設置についてを議題とします。

事務局長に説明させます。佐々木事務局長。

○議会事務局長（佐々木高君）

発議第6号

令和5年9月4日提出

八峰町議会議長 皆川鉄也様

提出者	八峰町議会議員	水 木 壽 保
賛成者	同 上	見 上 政 子
〃	〃	奈 良 聡 子
〃	〃	芦 崎 達 美
〃	〃	須 藤 正 人

決算特別委員会の設置について

標記委員会の設置について、八峰町議会会議規則第14条の規定により別紙のとおり提出します。

提案理由は、令和4年度八峰町一般会計、各特別会計歳入歳出決算及び公営企業会計の決算等について集中的に審査するためです。

別紙の決算特別委員会の設置につきましては、名称を「決算特別委員会」とします。

設置の根拠は、地方自治法第109条及び八峰町議会委員会条例第4条の規定によるものです。

目的につきましては、次の議案について審査することを目的とします。

議案第64号、令和4年度八峰町一般会計歳入歳出決算認定について、議案第65号、令和4年度八峰町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定についてから議案第70号、令和4年度八峰町営診療所特別会計歳入歳出決算認定についての特別会計6議案の認定について、議案第71号、令和4年度八峰町簡易水道事業会計決算認定及び剰余金の処分について、議案第72号、令和4年度八峰町下水道事業会計決算認定についての公営企業会計2議案の認定についてとなります。

設置の期間は、本日、令和5年9月4日から9月15日までの12日間。

委員の定数は、11名です。

令和4年度決算審査に関する決算特別委員会分科会所管事項につきましては、総務民生分科会におきましては、令和4年度八峰町一般会計歳入歳出決算のうち、総務課、企画財政課、税務会計課、福祉保健課、町営診療所、議会事務局の所管に属する事項及び他の分科会の所管に属さない事項並びに各特別会計の歳入歳出決算に関する事項です。教育産業建設分科会におきましては、令和4年度八峰町一般会計歳入歳出決算のうち、農業委員会、建設課、産業振興課、農林振興課、教育委員会の所管に属する事項及び特別会計の歳入歳出決算並びに公営企業会計の決算に関する事項であります。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ただいま朗読のとおり、決算特別委員会を設置することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 異議なしと認めます。したがって、決算特別委員会は設置されることに決定しました。

お諮りします。ただいま設置されました決算特別委員会の委員の選任については、八峰町議会委員会条例第5条第4項の規定により議長より指名したいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 異議なしと認めます。当席から指名いたします。

1番笠原吉範君、2番伊藤一八君、3番奈良聡子さん、4番芦崎達美君、5番水木壽保君、6番菊地 薫君、7番腰山良悦君、8番見上政子さん、9番須藤正人君、10番門脇直樹君、11番山本優人君、以上11名を指名します。

委員長・副委員長選任のため、暫時の間、休憩いたします。ご協議いただきたいと思います。

午後 1時05分 休 憩

午後 1時05分 再 開

○議長（皆川鉄也君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第13、決算特別委員会委員長及び副委員長の互選結果の報告についてを議題とします。

ただいま互選結果について本席に通知がありましたので、ご報告いたします。

委員長には6番菊地 薫君、副委員長には3番奈良聡子さんが互選されました。

日程第14、議案第64号、令和4年度八峰町一般会計歳入歳出決算認定について、日程第15、議案第65号、令和4年度八峰町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について、日程第16、議案第66号、令和4年度八峰町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について、日程第17、議案第67号、令和4年度八峰町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について、日程第18、議案第68号、令和4年度八峰町沢目財産区特別会計歳入歳出決算認定について、日程第19、議案第69号、令和4年度八峰町合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算認定について、日程第20、議案第70号、令和4年度八峰町営診療所特別会計歳入歳出決算認定について、日程第21、議案第71号、令和4年度八峰町簡易水道事業会計決算認定及び剰余金の処分について、日程第22、議案第72号、令和4年度八峰町下水道事業会計決算認定については、八峰町議会会議規則第37条の規定により一括議題とします。

お諮りします。本議案は一括して決算特別委員会に付託したいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(皆川鉄也君) 異議なしと認めます。したがって、本議案は一括して決算特別委員会に付託することに決定いたしました。

日程第23、陳情第4号、庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情書についてを議題とします。

本件については、6月14日の定例会本会議において総務民生委員会に付託しておりましたので、総務民生常任委員会委員長より審査の経緯と結果について報告を求めます。菊地総務民生常任委員会委員長。

○総務民生常任委員会委員長(菊地 薫君) ご報告いたします。

令和5年6月議会定例会において総務民生常任委員会に付託となっておりました、陳情第4号、庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情書についてを、8月8日、総務民生常任委員会を開催し、慎重に審査いたしました。

その結果、陳情の内容について理解できるとし、賛成多数で採択と決定しましたのでご報告いたします。

○議長（皆川鉄也君） 委員長は、しばしお待ちをいただきたいと思います。

これより陳情第4号についてを質疑いたします。質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 質疑ないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。討論ありませんか。8番見上政子さん。

○8番（見上政子さん） この庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情に反対をいたします。

提出者は統一教会の幹部であることは明らかなです。全県の議会に、名前を変えたり、住所を変えたりして、全く同じ陳情を出していることが分かりました。

統一教会イコール勝共連合ですけれども、共産党に勝つと書きます。40年以上も前、能代市でも裁判が起きました。起こした親がおりました。その悲惨な訴えを私も聞いたことがあります。この集団の特徴は、悪質な詐欺集団です。宗教を隠れ蓑にして、若者に取り込むことです。もう一つは、反共を売り物にして保守に取り入って、お金のあつた人たちから多額の詐欺行為を重ねてきました。その現れは、昨年、自民党の井野俊郎防衛副大臣が深い接点を持っていることが分かりました。また、自民党と統一教会の問題で山際経済再生担当大臣が辞任しました。野党から解散命令を出すよう首相に質問する中で、「組織性を確認して手続きを進めることと判断した。」としています。今も検討が続いて、10月には結論が出るのではないかということが報道されています。

資料にある川崎市のアンケートは、20年も前のものです。このアンケートについては、アンケートを取った市長は裁判に訴えられ、敗訴して、全面的に悪かったと謝罪しています。ほかに新聞で取り沙汰されている世界日報統一協会機関紙です。これも同じような中身です。産経新聞も同じです。

能代市でも似たようなことが議会で取り上げられました。しかし、どの読み物を読もうと、それは本人の自由で、検閲してはならないとした憲法21条に違反するものです。

最後の資料は、共産党の小池書記局長がパワハラを認め、謝罪の記事ですけれども、この会議にたまたま私は出席していました。司会者が3回、参加者の1名の名前を言い直して、同じ壇上にいた小池さんがかつかつかと寄ってきて何やら話していましたが、私たち会場にいた人たちには聞こえませんでした。パワハラと言えるものではありませんが、共産党ならではの厳しい自己批判で自分を戒め、記者会見をしたのだと思います。

この陳情は、全県に統一地方選挙が行われる時期を見計らって起こったものです。戦

前行われていた思想調査と思われるようなものです。戦後できた憲法に違反するこの行為は許されません。

県庁では、新聞赤旗、公明新聞、社会新報が図書館において置かれております。先ほど言いましたが、能代市議会では保守党議員も含めて、この陳情はおかしいと全会一致で反対をしています。八峰町議員の常識ある判断で陳情に反対してくださることをお願いいたします。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに討論ございませんか。3番奈良聡子さん。

○3番（奈良聡子さん） 私もこの陳情に反対いたします。

庁舎内での政党機関紙の勧誘・配達・集金について、議員が自己の地位と権限による影響力を行使することは、政治倫理条例にもとり、現に慎むべき行為ではあります。本陳情の趣旨に一定の理解はできるものの、川崎市の事例は既に状況が改善されており、添付資料の記事も古く、保守系メディアの産経新聞、旧統一協会が母体とされる世界日報など、選択に偏りがみられます。

また、インターネットで検索したところ、陳情者は国際勝共連合秋田県本部という政治団体の代表者であることが分かりました。国際勝共連合とは、旧統一教会の創始者が反共主義を旗印として設立した組織であります。

この陳情が最初に提出されたのは、実は今年春の統一地方選の前であり、3月定例会の提出期限に間に合わなかったことから6月定例会で取り上げることになったということでもあります。このタイミングから、共産党をターゲットとしているのではないかと考えられます。他の自治体に対しても同様の内容の陳情が別の個人名で提出されていると聞いており、こうしたやり方そのものが信用性を疑わせるに十分足るものであります。陳情という形式をとりながら、政治的意図を持って特定の政党をおとしめようとする行為は看過できません。

さらには、最近得た情報によると、本陳情の提出者と同姓同名の者が信仰の自由・基本的人権を守る秋田県民の会の代表として、由利本荘市に全国靈感商法対策弁護士連絡会の不当な声明に対して由利本荘市議会に対応を求める陳情なる陳情書を提出したということです。旧統一教会の存続を狙った最後のあがきのようにも思いますが、総合的に判断して本陳情の提出者と同一人物であると思われます。こうした陳情を採択することは、当議会としての見識が疑われかねません。

以上の理由から、この陳情に反対いたします。

○議長（皆川鉄也君） ほかに討論ございませんか。1番笠原吉範君。

○1番（笠原吉範君） 私は賛成の立場から討論いたします。

陳情者が誰であろうが、この陳情の内容が理解できるか、できないかだと思います。政党の争いにするのはやめていただきたいと思います。

私は、この内容は理解できますので賛成をいたします。

○議長（皆川鉄也君） ほかに討論ございませんか。9番須藤正人君。

○9番（須藤正人君） この陳情に賛成をいたします。

機関紙を職員の各家々に勧誘に回るというのを私はいいと思うんです。ところが、この陳情は庁舎内、庁舎内での勧誘、これを慎むべきだという陳情内容であります。庁舎内においてですね、機関紙を各職員に売り込んで歩くというのは、私はいささか違うんじゃないかなというふうに思います。だから個人のうちに勧誘に歩いてくださいよ。だったらいいわけですよ。だからそういうことで、私はこの陳情に賛成します。

○議長（皆川鉄也君） ほかに討論ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） ほかに討論ないようですので、これで討論を終わります。

これより陳情第4号を採決します。この採決は起立で行います。この陳情に対する委員長報告は採択とするものです。庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情書を採択することに賛成の方の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（皆川鉄也君） 起立多数です。したがって、陳情第4号は採択することに決定されました。

これで本日の日程は全部終了いたしました。

本日の会議を閉じます。

なお、次回の本会議は、9月13日午前10時より開会し、一般質問を行います。

これにて散会いたします。ご苦労様でした。

午後 1時19分 散 会

署 名

上記会議の次第を記載し、これに相違ないことを証明するためここに署名する。

八峰町議会議長 皆川鉄也

同署名議員 8番 見上政子

同署名議員 9番 須藤正人

同署名議員 10番 門脇直樹